

別紙 - 4

記入方法及び留意事項(公共建築工事)

1 複数工種を含む場合の工事は、考察項目別運用表の第一次評定者及び第二次評定者の評価項目(出来形及び出来ばえ)の評定点を工事比率(金額)により案分し評定点とする。

2 第一次評定者はプロセスチェックリストを用いて、別紙 - 1「**検査項目別運用表(公共建築工事)**」の第一次評定者の評価を行う。ただし、工事規模、工期等により、使用しなくても良いものとする。

原則、請負金額2千5百万円以上の工事で使用する。

プロセスチェックリストについて

1 監督員は、「**検査項目別運用表(公共建築工事)**」のうち、第一次評定者の評価を行うために、現場において使用するものとする。

2 カッコ内の文字()は説明文である。

3 原則として記載されたチェック項目を使用することとするが、各機関の工事内容等により、該当しないものは削除しても良いものとする。

4 記載されたもの以外にチェック項目が必要な場合は、各機関が検査項目を勘案のうえ、追加しても良いものとする。

5 各評価項目の文面は、各機関の実状に合わせて変更しても良いものとする。ただし、評価内容は変更しないものとする。